

# 自動車リサイクルの現状と今後の課題

第12回 SFTEE セミナー

参加無料

2017.11.10 Fri 13:00 ~

13:00-13:05

ご挨拶

田路 和幸（東北大学大学院環境科学研究科 教授／  
NPO法人環境エネルギー技術研究所 理事長）

13:05-13:40

樹脂のリサイクルが進まないのは輸送コスト

これを解消するためには？

木原 忠志（エコメビウス株式会社 代表取締役）

リサイクルの定義はとてわかりにくい。一方、エネルギー源（樹脂類）になるものを燃やすだけのサーマルという方式には、リサイクラーの多くが疑問を持つ現実がある。今回は、高度化できていない樹脂のマテリアルリサイクルの促進を披露するとともに、この後の各講演と自動車リサイクルとの関係を紹介する。

13:40-14:15

セメント業界における自動車リサイクルへの取組みについて

花田 隆（太平洋セメント株式会社 環境事業部  
営業企画グループ 参事）

セメント製造工程は高温焼成という特性を持つため、自動車関連も含む多種多様な廃棄物・副産物を引き取り、安全かつ大量にセメント再資源化することができる。今回はその状況及び最新の自動車リサイクルに関わる取組みについて報告する。

14:15-14:50

ガラスにリサイクルできる！今は勿体ない自動車ガラス

～ガラス原料の製造現場から“生”の状況報告～

田結莊 宣治（有限会社飯室商店 総務グループマネージャー  
／全国板カレットリサイクル協議会 事務局長）

ガラスは、窓ガラスなど普段の生活の中で身近にあってなくてはならないものだが、ガラスの種類や再生方法など一般には知られていないのが現状。本講演では、自動車のガラスを中心としてガラス再生の現状を紹介する。

14:50-15:10 コーヒーブレイク

15:10-15:45

自動車リサイクル制度における包括的資源利用のあり方

清水 孝太郎（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
環境・エネルギー部  
資源エネルギーグループ長・主任研究員）

日本の自動車リサイクルシステムは、全体最適であるとはいえない状況にある。自動車リサイクルにおける解体・破碎プロセスの役割を見直すことで、従来よりも付加価値の高い再資源化の可能性を紹介する。

15:45-16:20

自動車リサイクルとサーキュラーエコノミー

～自動車の材料循環に関わるこれまでとこれから～

喜多川 和典（公益財団法人 日本生産性本部  
エコ・マネジメント・センター長）

欧州から発信されるサーキュラーエコノミーの流れを受け変化する自動車ビジネスが、将来の自動車リサイクルにどのような影響を及ぼすかについて、最近の法規制・ビジネス事例の動向を交えながら推察する。また自動車リサイクルの高度化の進め方についても、ドイツでの研究例などを参考にしつつ考察を試みる。

※多少、変更になる場合がありますので予めご了承ください。

お申込み・お問合せ

参加ご希望の方は、お名前・ご所属・ご連絡先を11月8日までに、  
下記、事務局へお知らせ下さい。

info@sfttee.or.jp / TEL: 022-795-7391 / FAX: 022-795-7392

★会場ではテキストを実費販売致します。（数量限定、2千円程度）